

「沖縄風オノマトペ」とは

皆さん、「オノマトペ」ってご存知ですか？擬声語や擬態語などをいうフランス語らしいのですが、これまで診察室で耳にした「沖縄風オノマトペ」をまとめてみました。

沖縄の人は日常当たり前に使っていますが、県外から来た人にとっては新しい表現だと思います。ご参考までに。

Q「昨日の夕飯は何でしたか？」

A「人参シリシリでした。」「シリシリ」は「すりすり」のこと。調理器具で千切りにします。他に「パイヤシリシリ」、また「りんごシリシリ」は大根おろしの様にして食べることです。

アトピーの子の母親へ Q「夜はどうですか？」

A「この子、夜通しガシガシ痒いて寝ないんです。」ガシガシはゴシゴシでやや強めに感じます。他にバリバリ痒く＝ポリポリ痒くもあり、「いつもかさぶたをカカジっていつまでも治らないんですよ」カカジルは痒きむしることで、私は子どもの頃お釜のおこげをよくカカジって食べていました。

Q「前回の保湿クリームどうでしたか？」

A「あれムチャムチャして嫌いさー」ムチャムチャはネチャネチャ、ベタベタということです。「汗でムチャムチャする」など。

発熱の子の母親へ Q「どうしましたか？」

A「昨日の夕方からファンファンしています。」ファンファンは熱が出ている状態のこと。「夜は鼻がカパカパして寝ないんです

よ」、「いつも鼻がフガフガしています」カパカパは鼻くそで詰まった鼻閉状態、フガフガはやや詰まった状態と理解しています。

咳で来た子の母親へ Q「夜はどうですか？」

A「いつもジェージェーしておっぱいも飲まないですよ」ジェージェーはゼイゼイ、ゼコゼコで痰がらみの呼吸状態。「ガーガーしています」と言う人も。

Q「食欲はどうですか？」

A「ガシガシ食べていますよ」ガシガシは食欲旺盛の状態か。

また「沖縄独特な日本語」も多数あります。母親が子どもに「早く洋服付けて！」(着る)とか「早くズボン付けて！」(はく)、「メガネを履く(はく)」「(かける)」と言う人もいます。

ケイタイで「今来るから待ってて！」(行く)など動詞の使い方はめちゃくちゃです。

最近のごみと言う人が増えましたが、大小構わずちりと言います。ちり箱、ちり取りなど。

良く使われるのがジョートー(上等)です。

患者 Q「先生、大丈夫ですか？」

医師 A「ジョートーです」(良い状態です。心配なし。)

沖縄に居ては正しい日本語なのか、沖縄独自の言い回しなのか判断に迷う時がありますが、疑問に思っていない人が多数かも。

今回の「たま通信」いかがですか？「ジョートー？」
(たまなは)